

109th

N

I

K

A

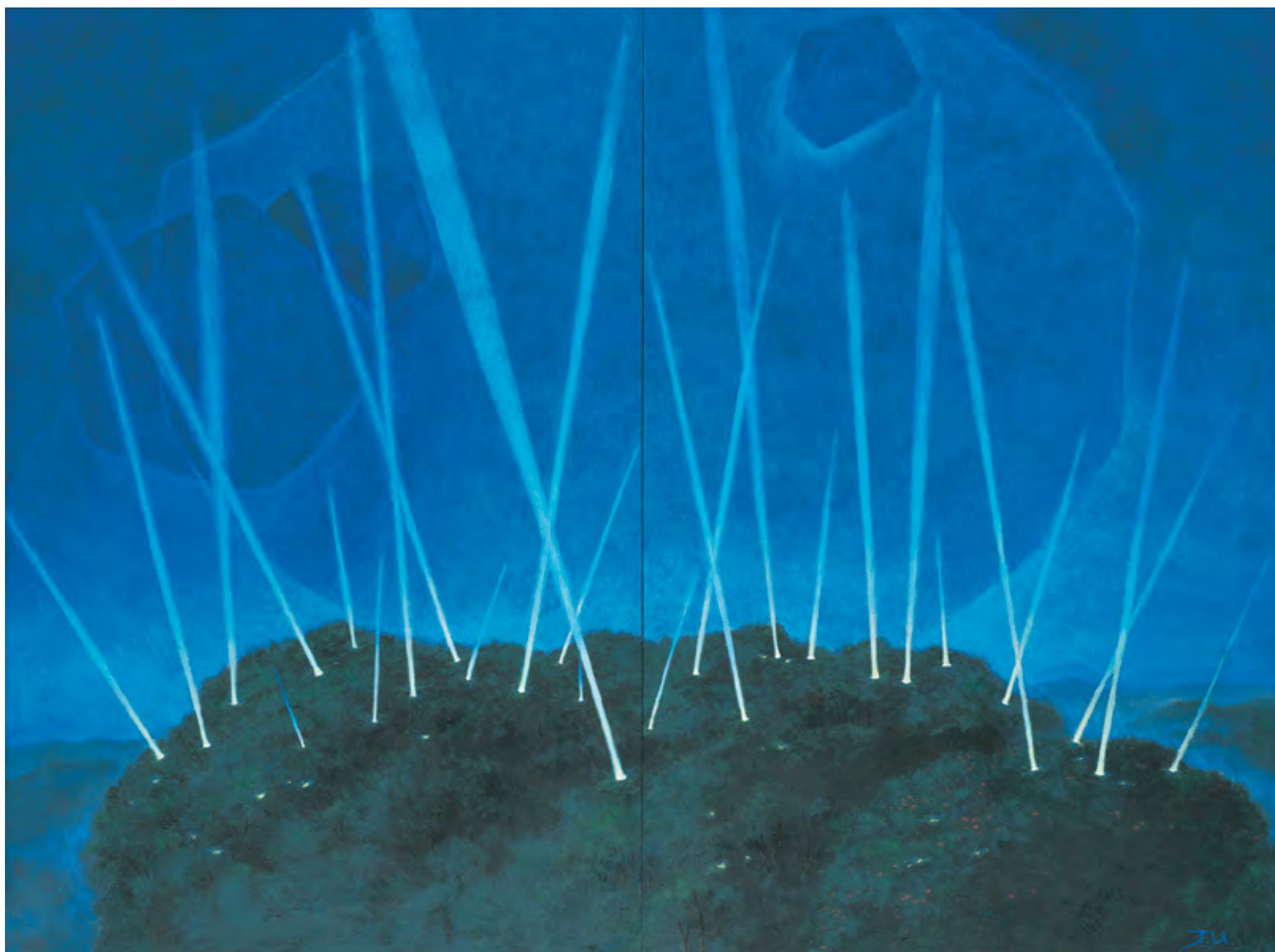
Painting

Sculpture

会 員

painting

絵 画



発信する森 194×260 生方純一



浜の娘 F130
西 健吉



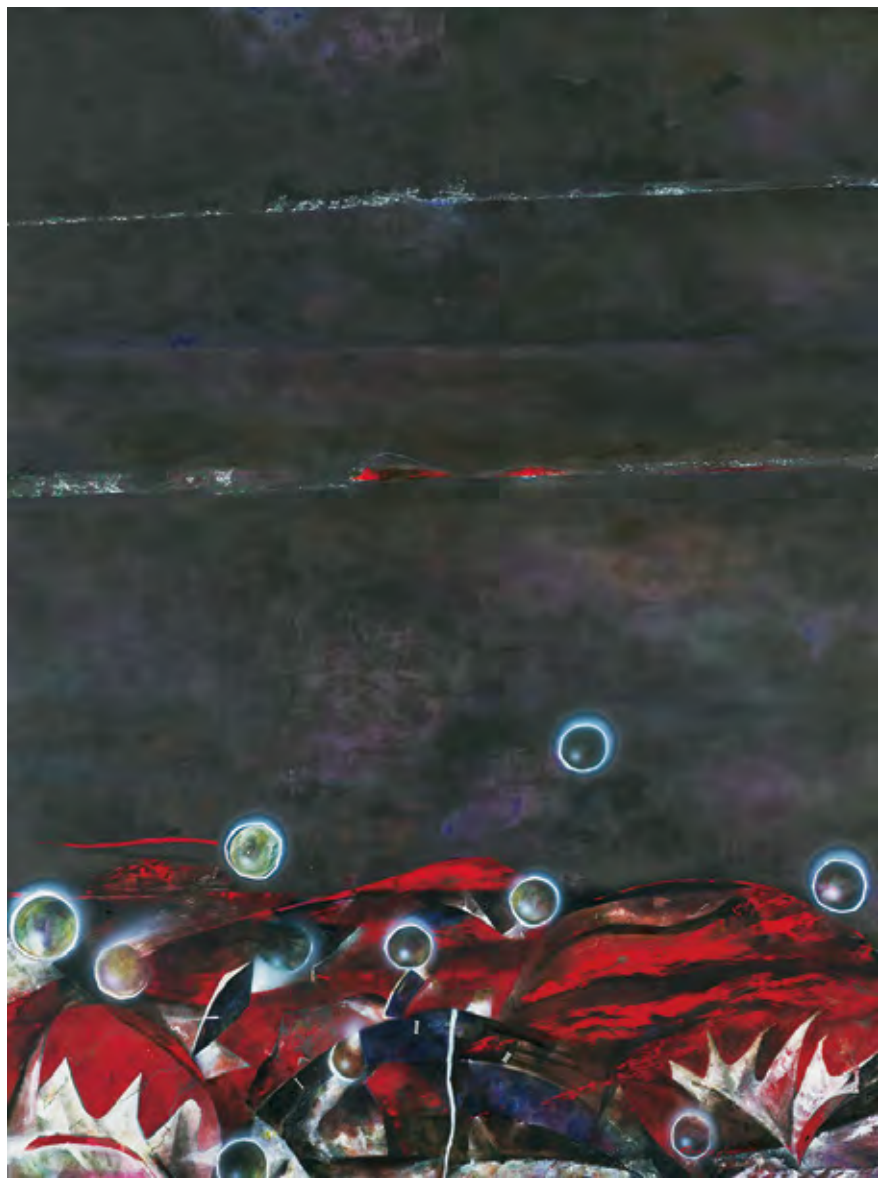
病む人の陰と影と翳 F130
中島敏明



Reverberation F300 山中宣明



P...-L... Angels 172×260.6 田浦哲也



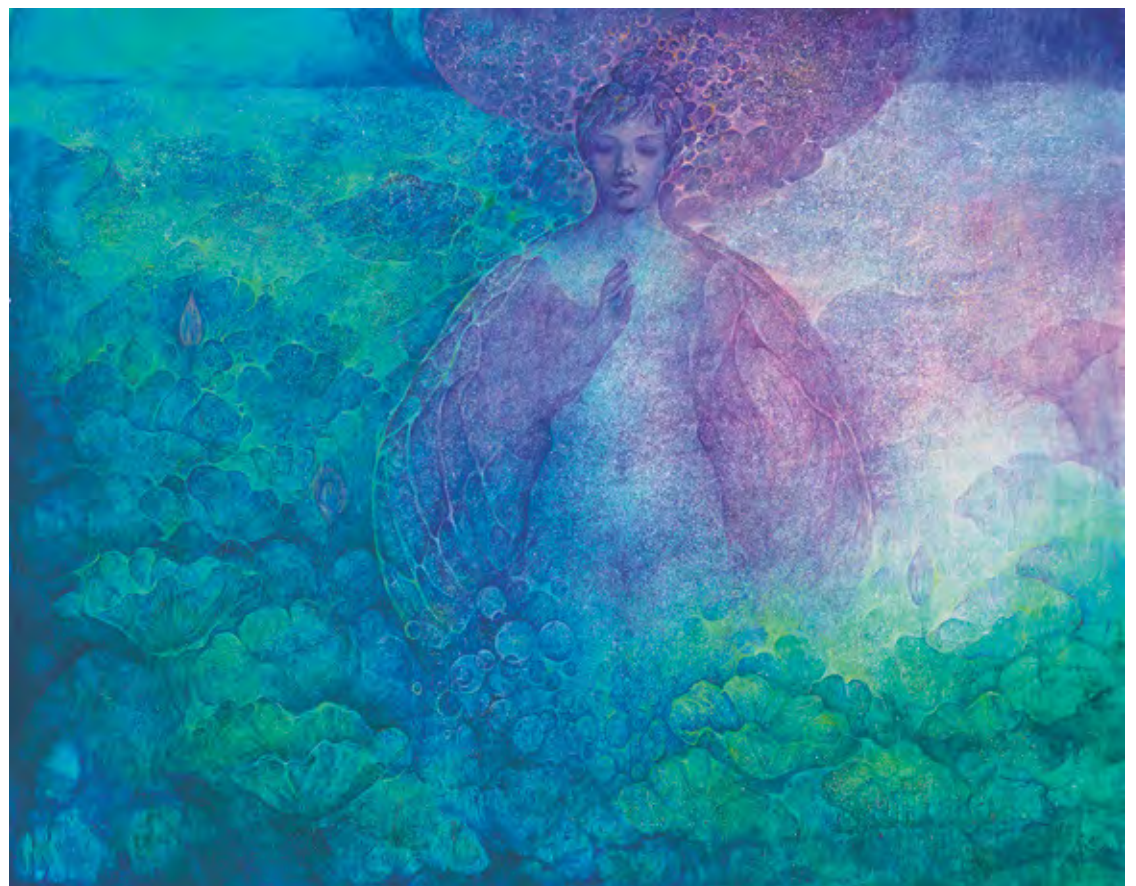
赤が輝いた時 F200 埴 珠世



ある風景の痕跡'25-1 F130 黒川彰夫



刻の流れ F200 濱田 進



祈り F150 加覧裕子



記憶の在り処 F120 野村みそら



NAGA SUTRA 〈龍の経文〉 238.5×208 田川絵理



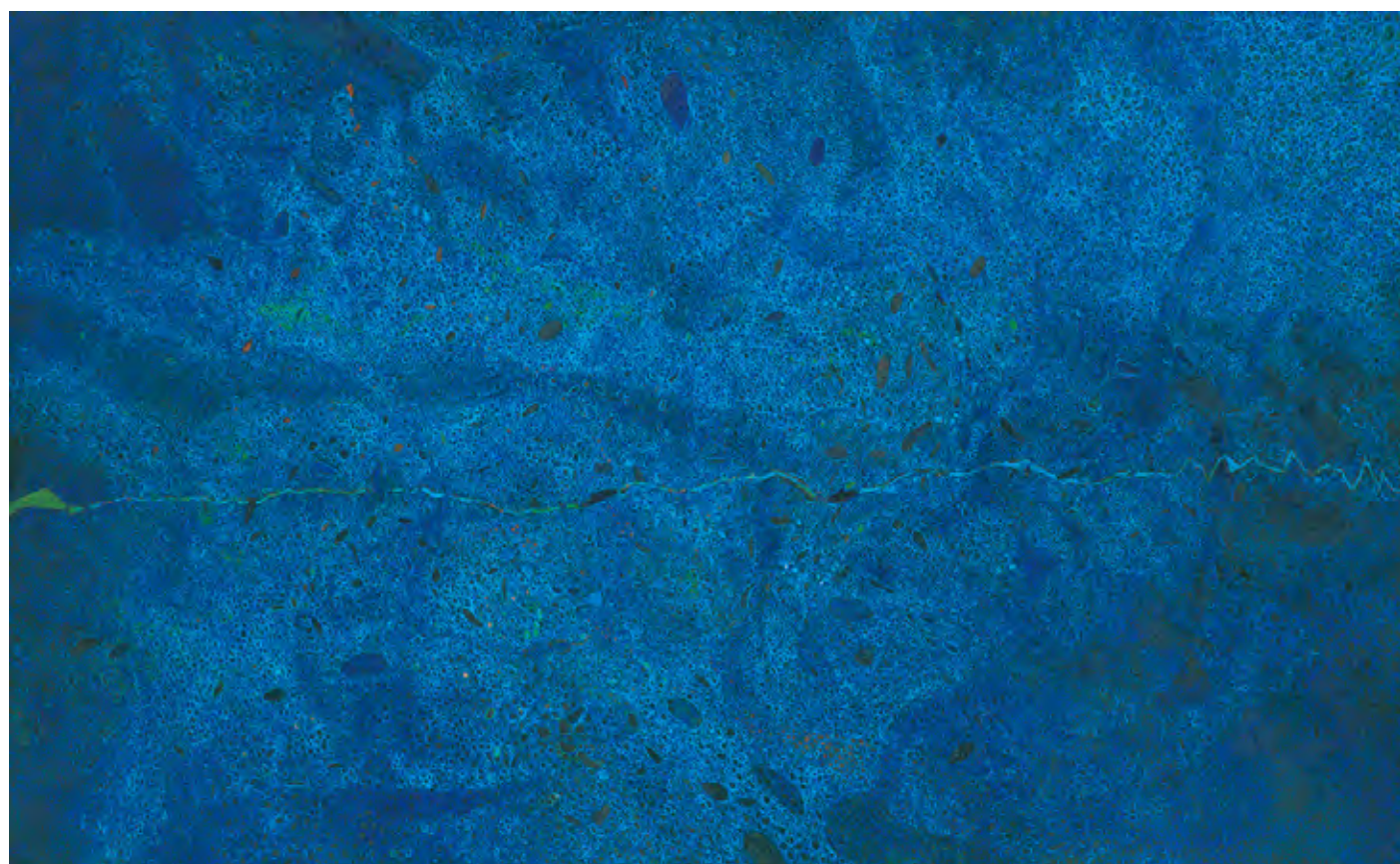
雷神 324×130 森岡謙二



アトリエの中の自画像 M200 粕谷正一



地中海の風 M200 横前秀幸



深淵 162×260.6 岩田 博



羽化する人 F150 五味祥子



郷 F100 石附 進



ある日 S100
吉井英二



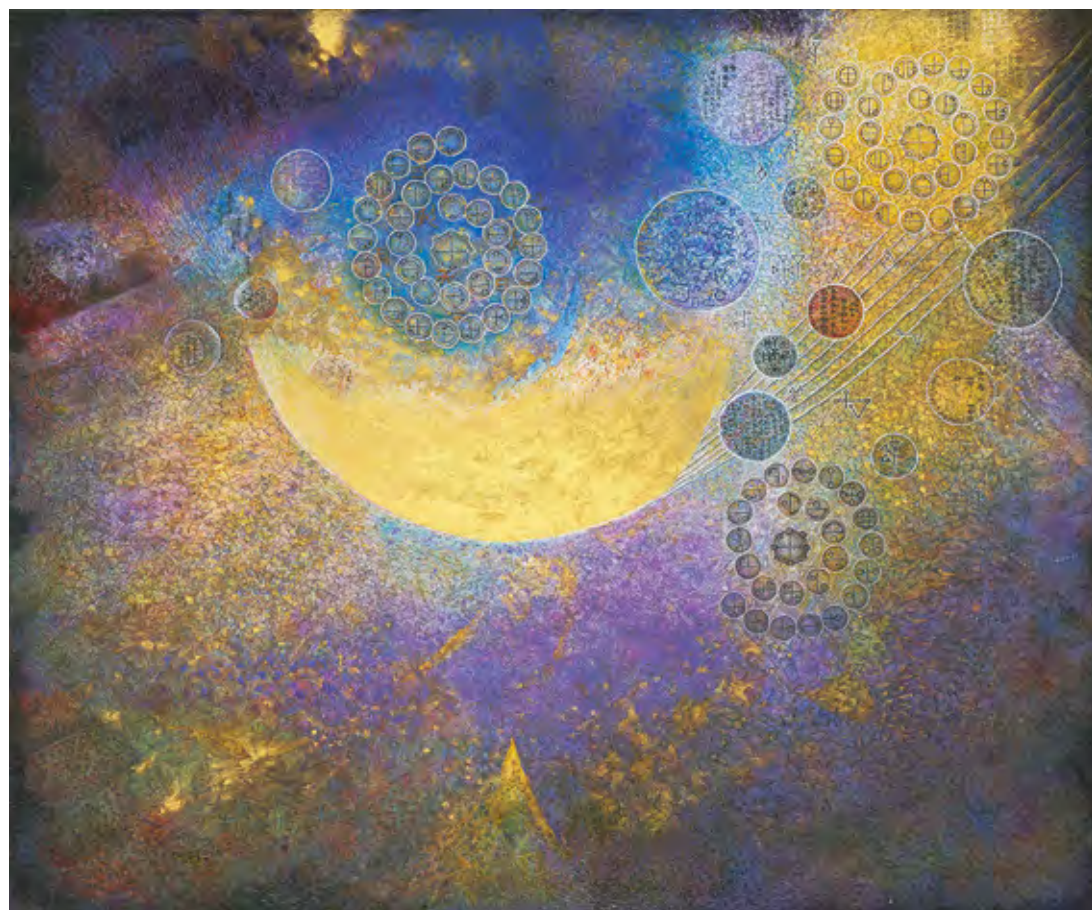
構成(白) F100
香川 猛



譜の花緑彩25-18 F150 中原史雄



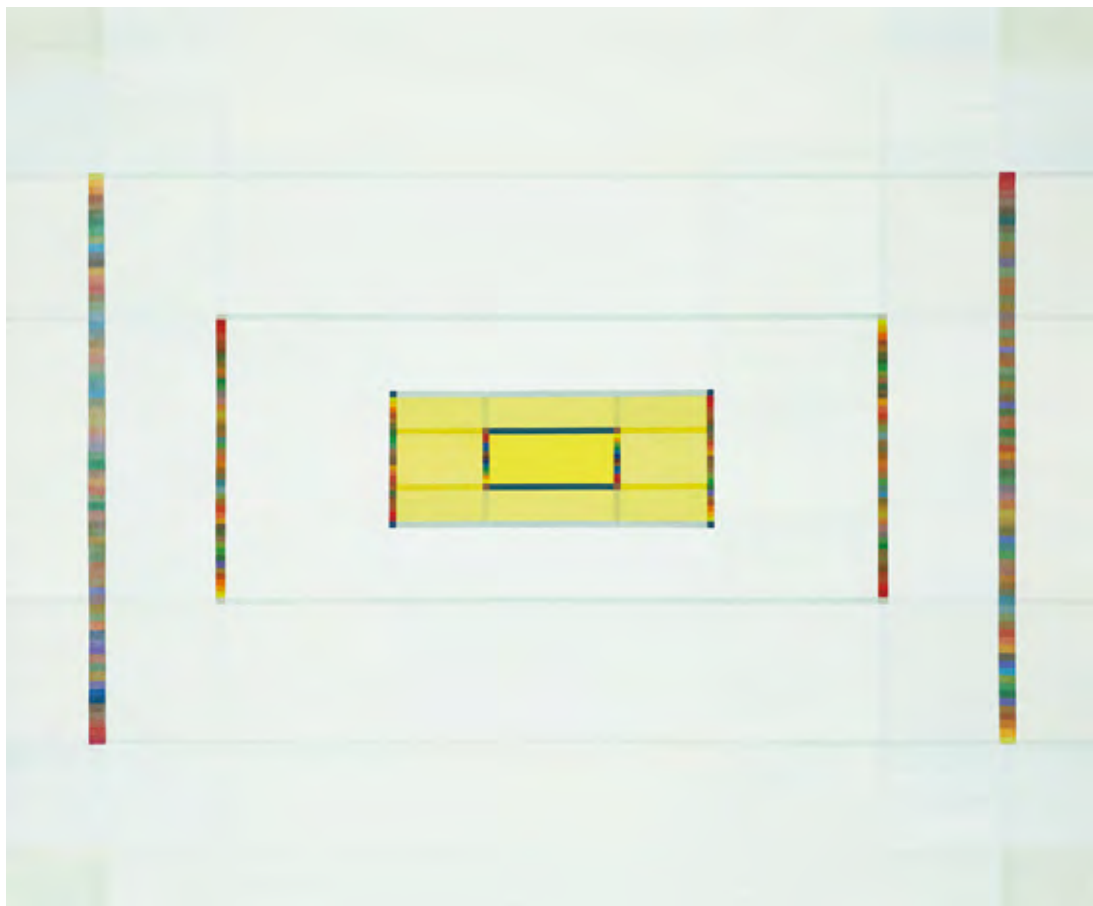
海潮音 F100 川内 悟



未来からの贈りもの F130 尾崎 功



天満宮 F100 松田朝旭



プレリュード F130 瀧澤賢福



あの日のこと F130 山岸光代



街 F130 鶴岡義詮



港町 162×260 米田整弘



矛盾的自己同一 162×324 藤田由明



Genocide 6 if エストニア 182×182 武藤挺一



ガザ・イスラエル・イコンの方舟 324×267 堀尾一郎



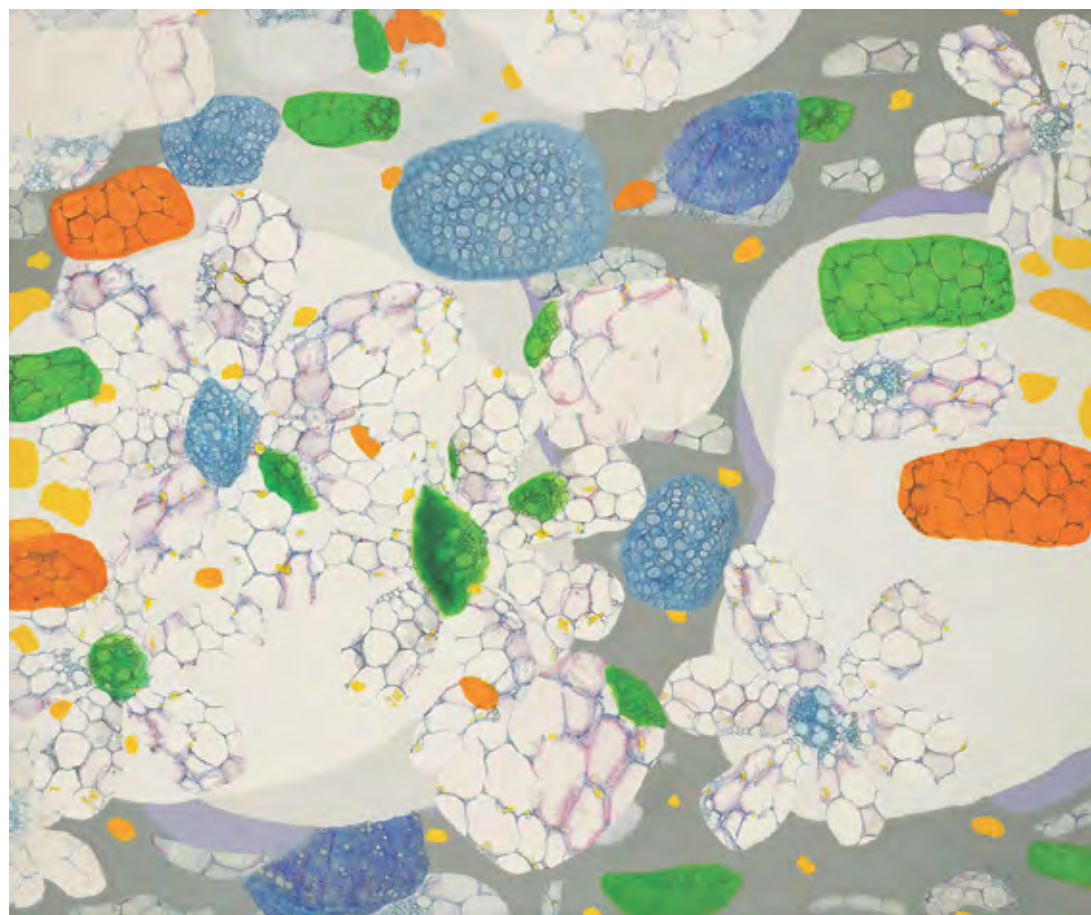
Le Vent 風・時間 194×324 須藤愛子



くるわ 184×188 沼 末男



無辜の民 F100 井田健一



萌芽'25 F130 入佐美南子



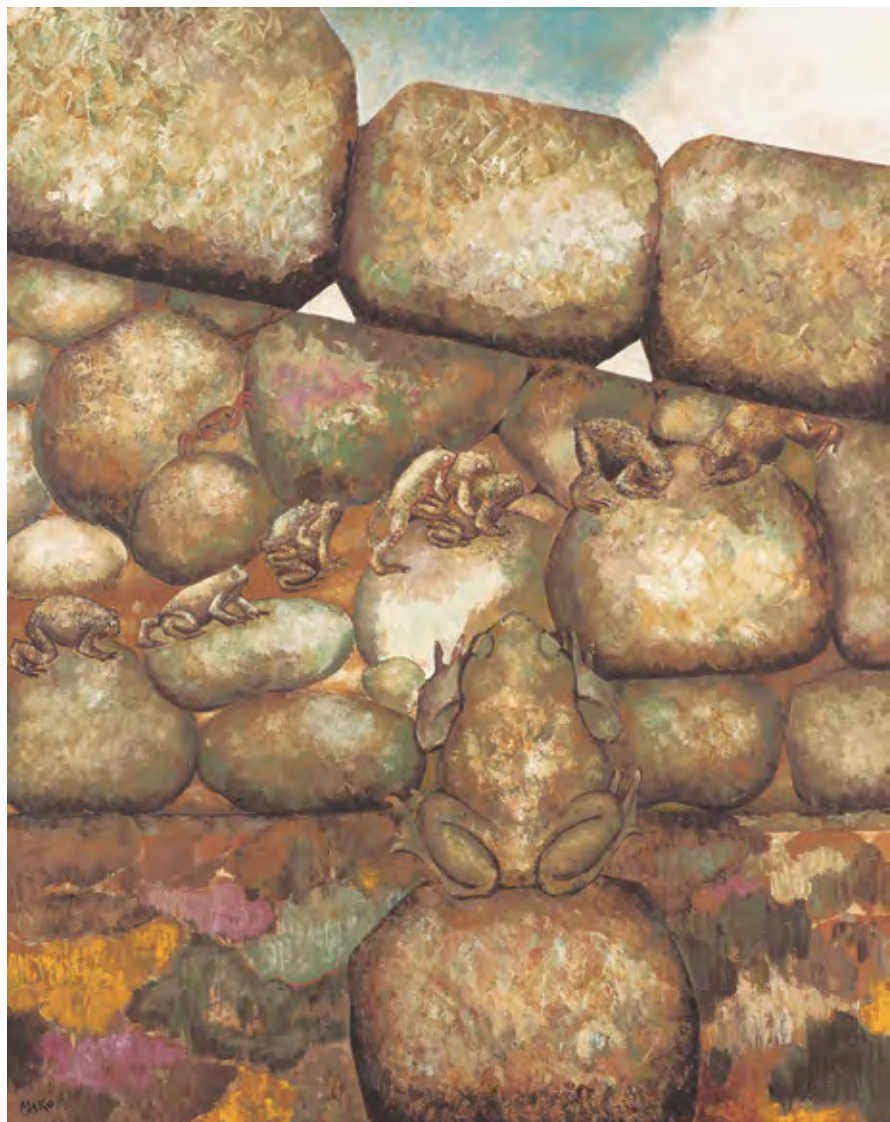
俯瞰の青 162×260 皆川恵子



テオリア F130 鎌田道夫



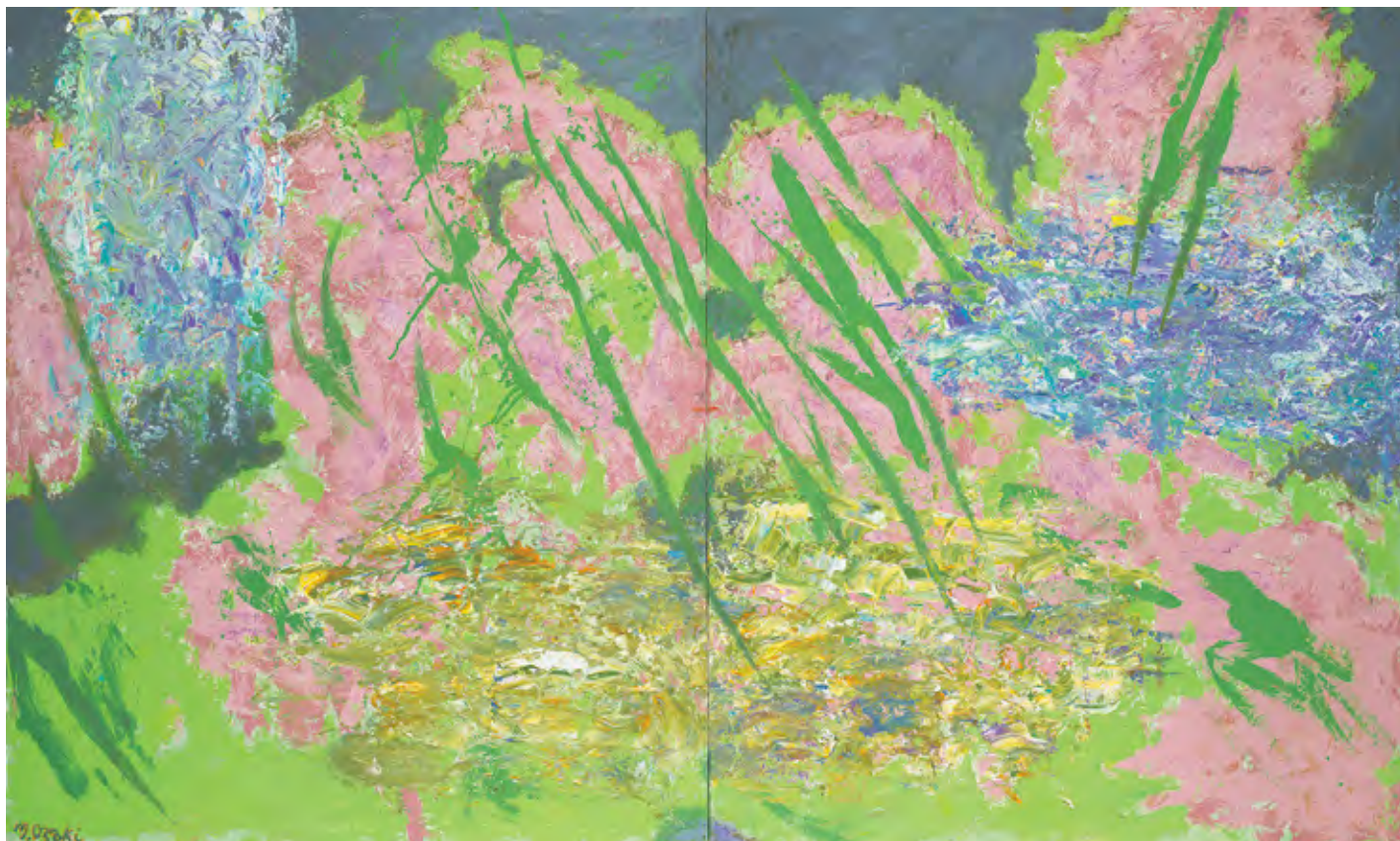
デュエット (Duet) 163×293 浅賀昌子



宮み F150 寺田 眞



少年の森 F100 永井二郎



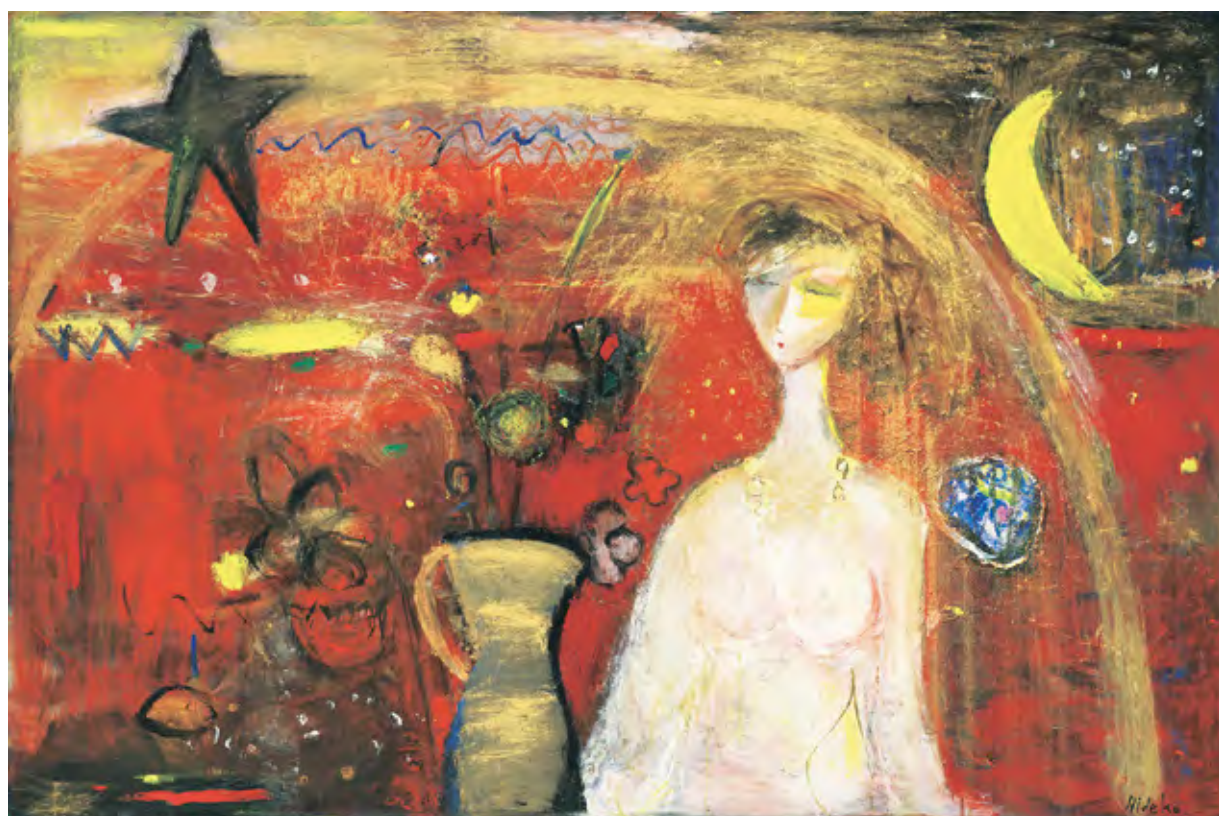
あたりまえの暮らしを 194×324 尾崎ゆき子



記憶の中の形 F50 白井紘子



刻音—住空間 F130 本間千恵子



ノクターン F120 木脇秀子



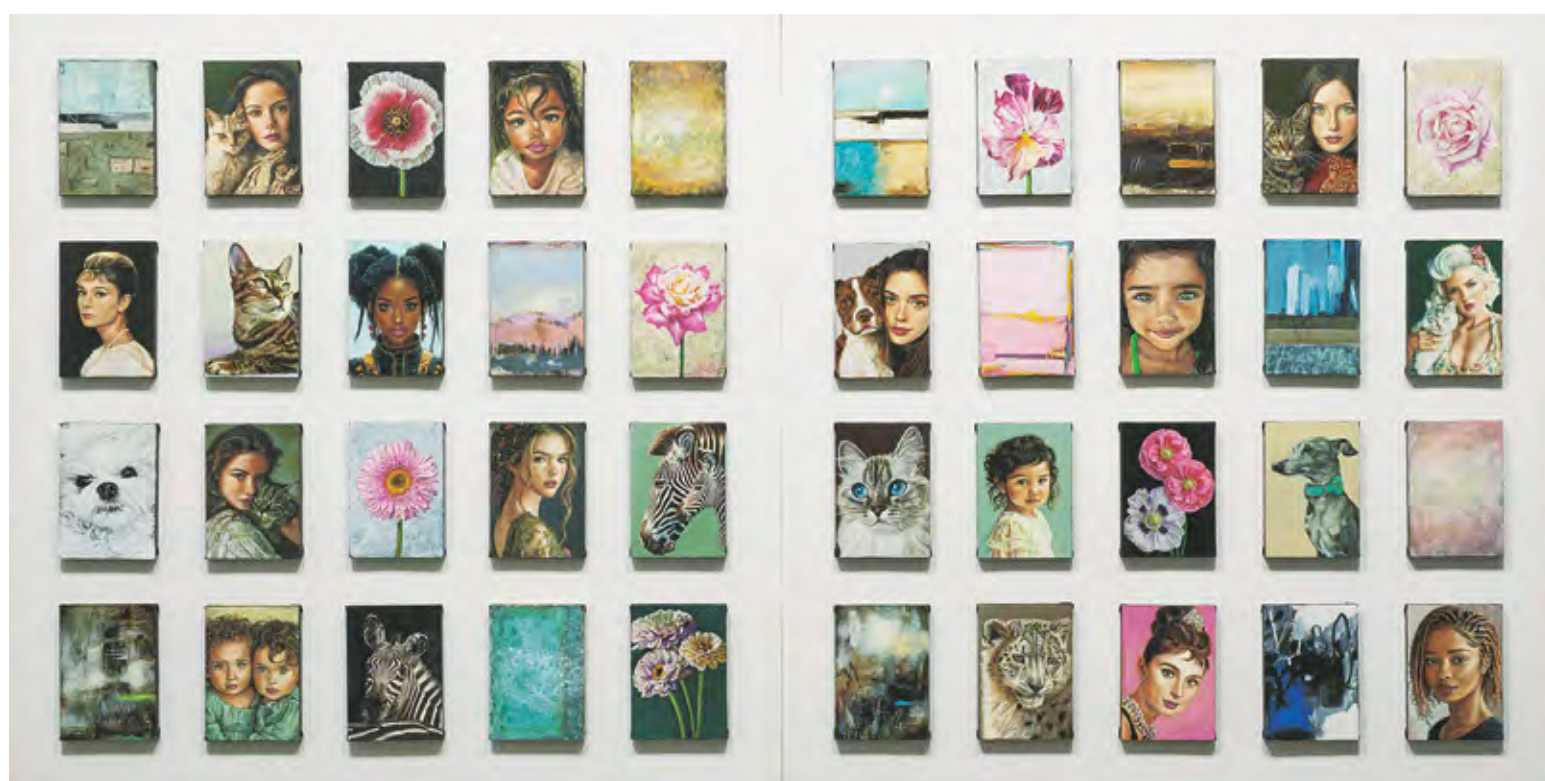
青の領域 F130 大淵万弥子



語らい F150 益子佳苗



魚たち F130 井上由美子



ALL FOR ONE 130.3×260.6 井上裕義



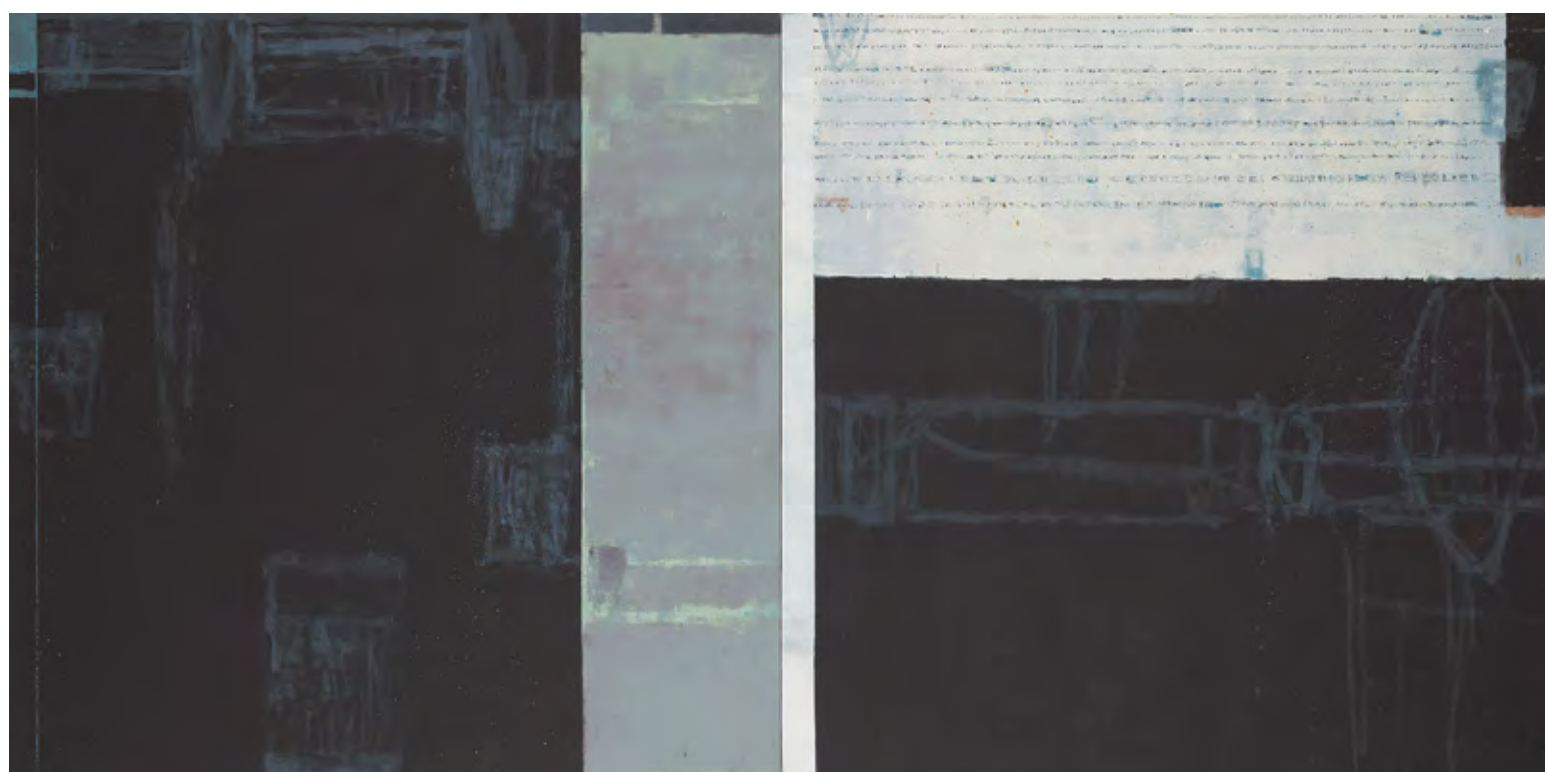
花 F130 楯岡和子



化粧 F130 渡辺倭文子



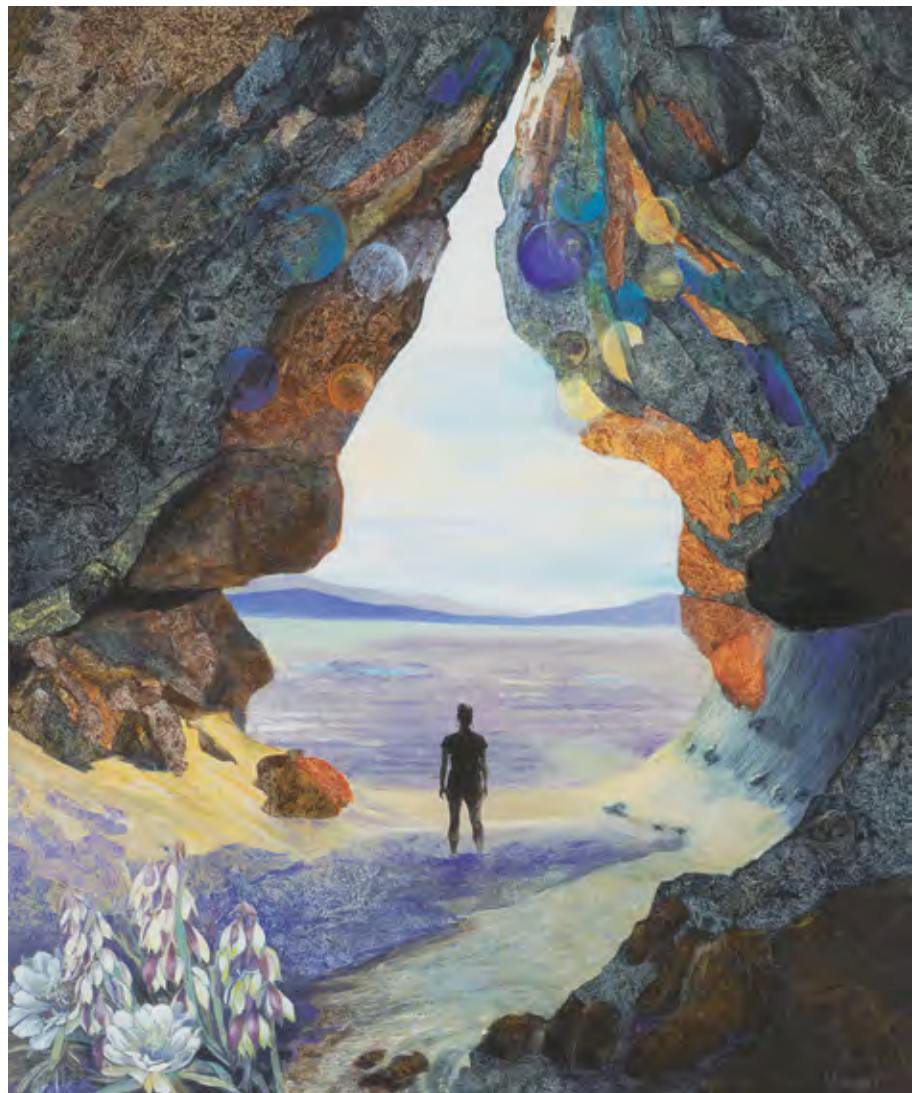
人の風景 F130 前田芳和



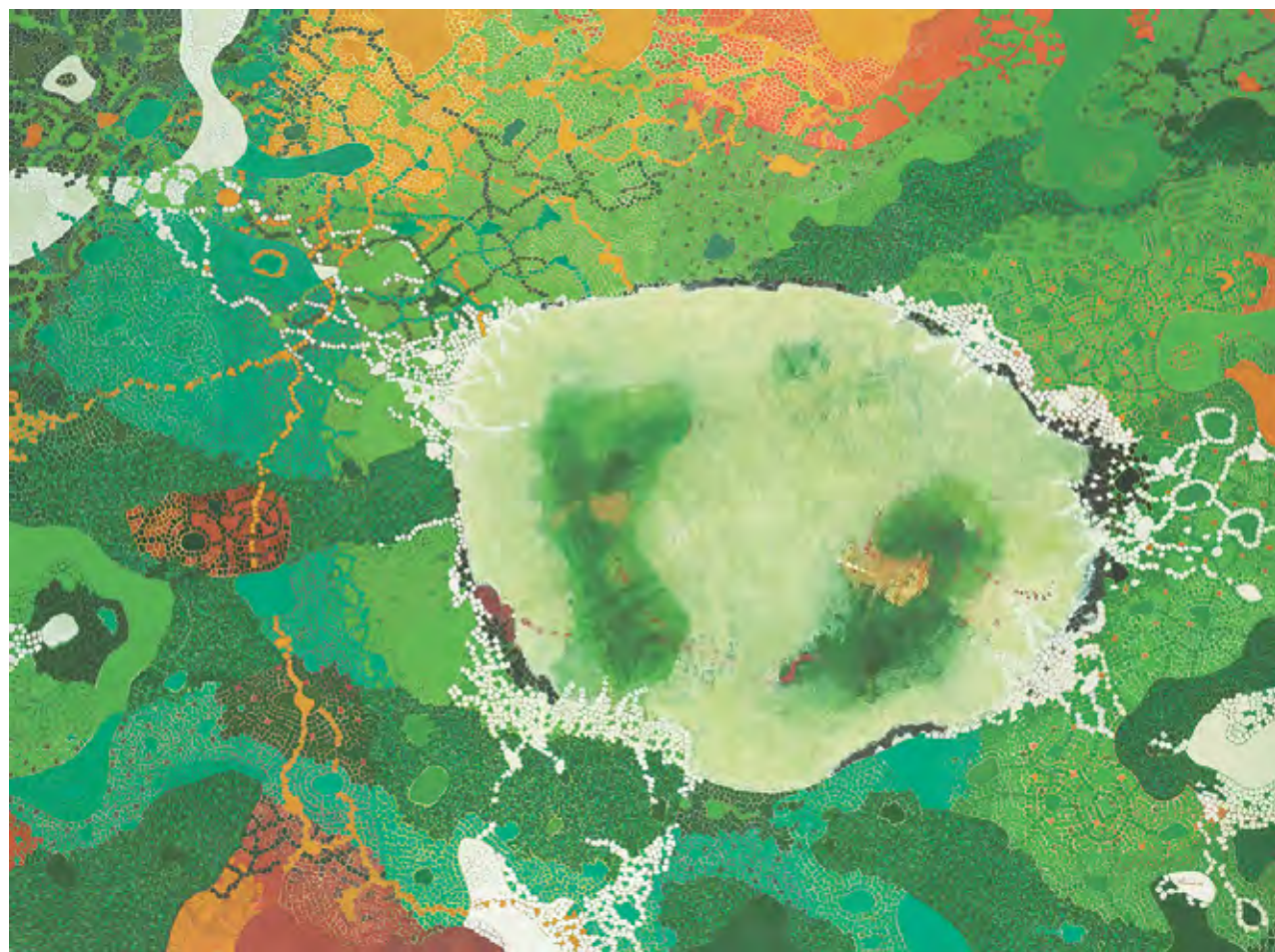
INNER SPACE 160×320 金澤英亮



静物 F100 今村幸子



悠久へのプロローグ2025 F130 深見まさ子



命をつなぐ F200 甲津久生



時のまなざし F200 柳田邦男



室内2025 F130 井上邦男



時空2025 F150 祝迫正豊



空 F150
上野和子



星空 F130
米田安希



浮かばない舟 F200 小出和枝



想起 196×261 関口成夫



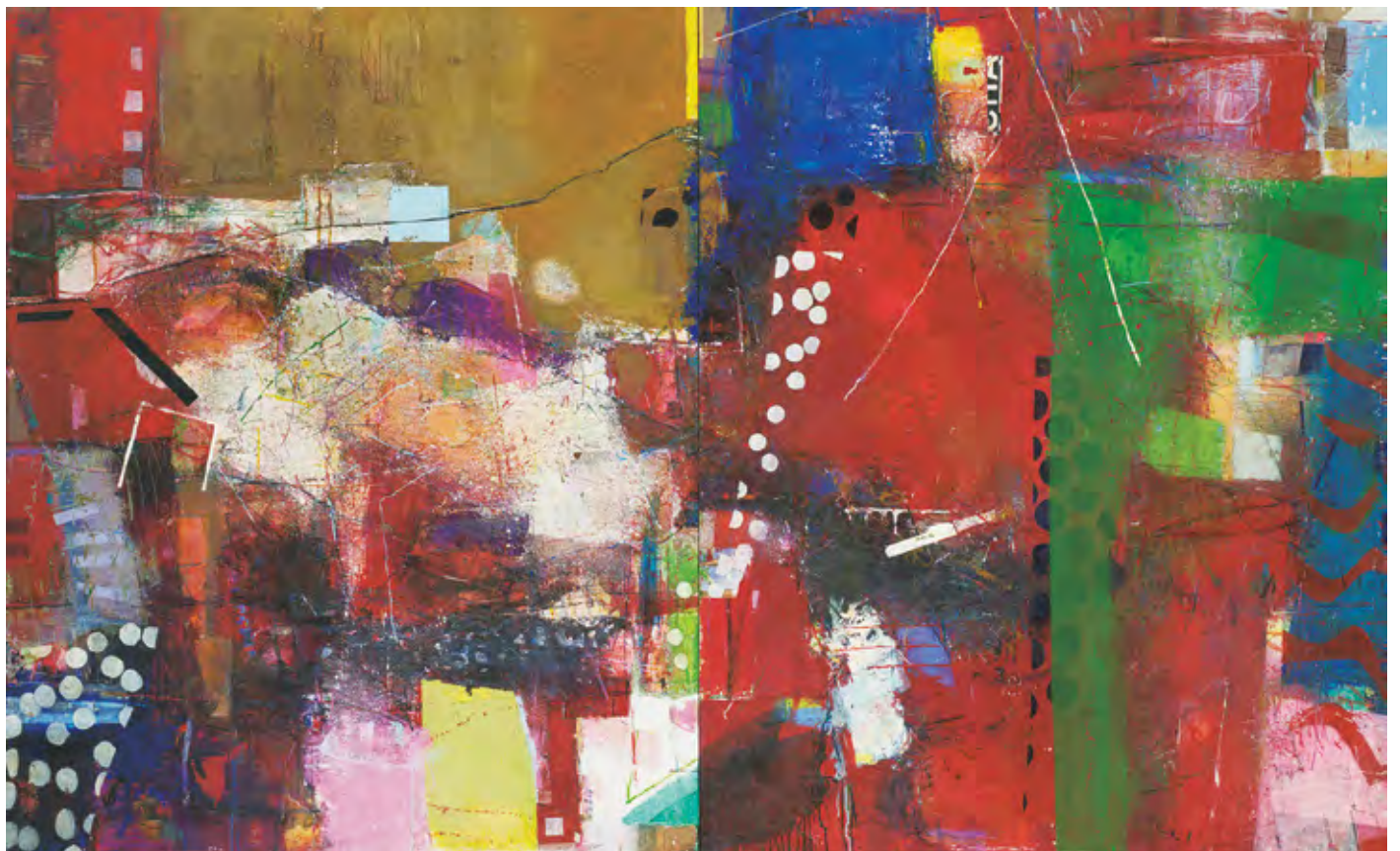
再会 F130 大桑和子



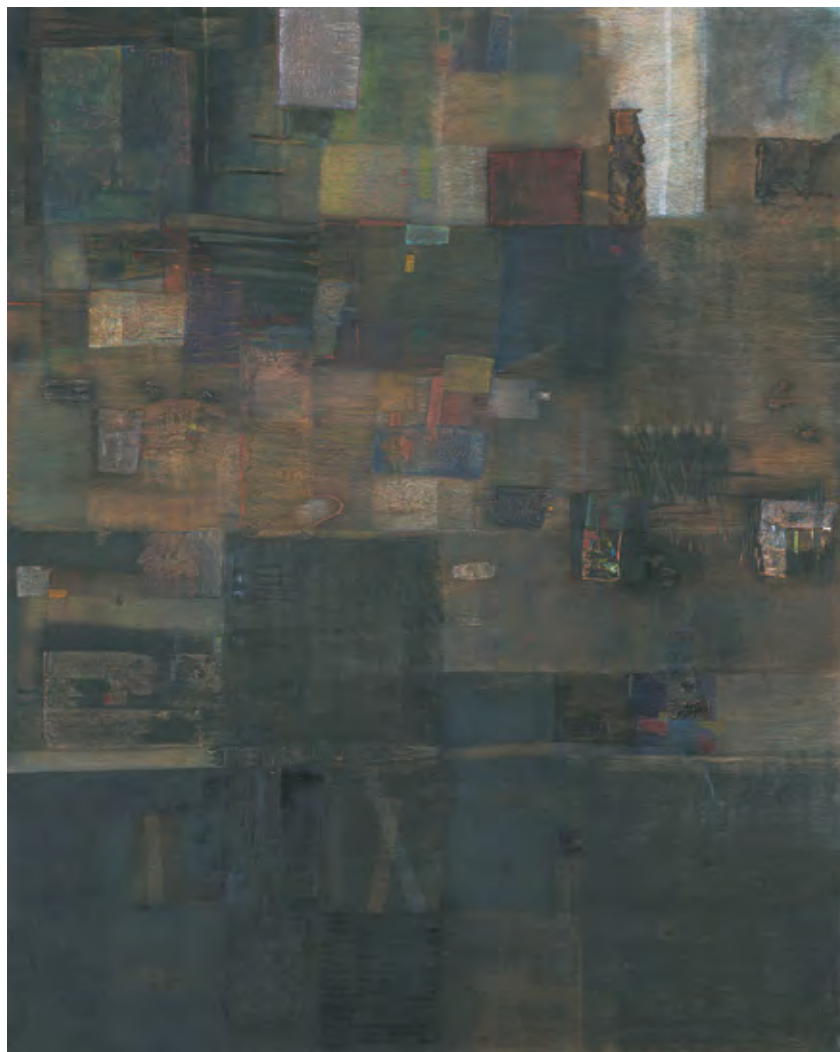
行き違い F130 大脇春美



華の形25-02 F130 古保木雄一



ネクストドア 162×260 寺崎陽子



HOPE F100
富士谷 隆



目をそらさずに言い訳さがした F130
石関和夫



昨夢 F300 山岸 睦



地の記憶25-2 F130 上村育子



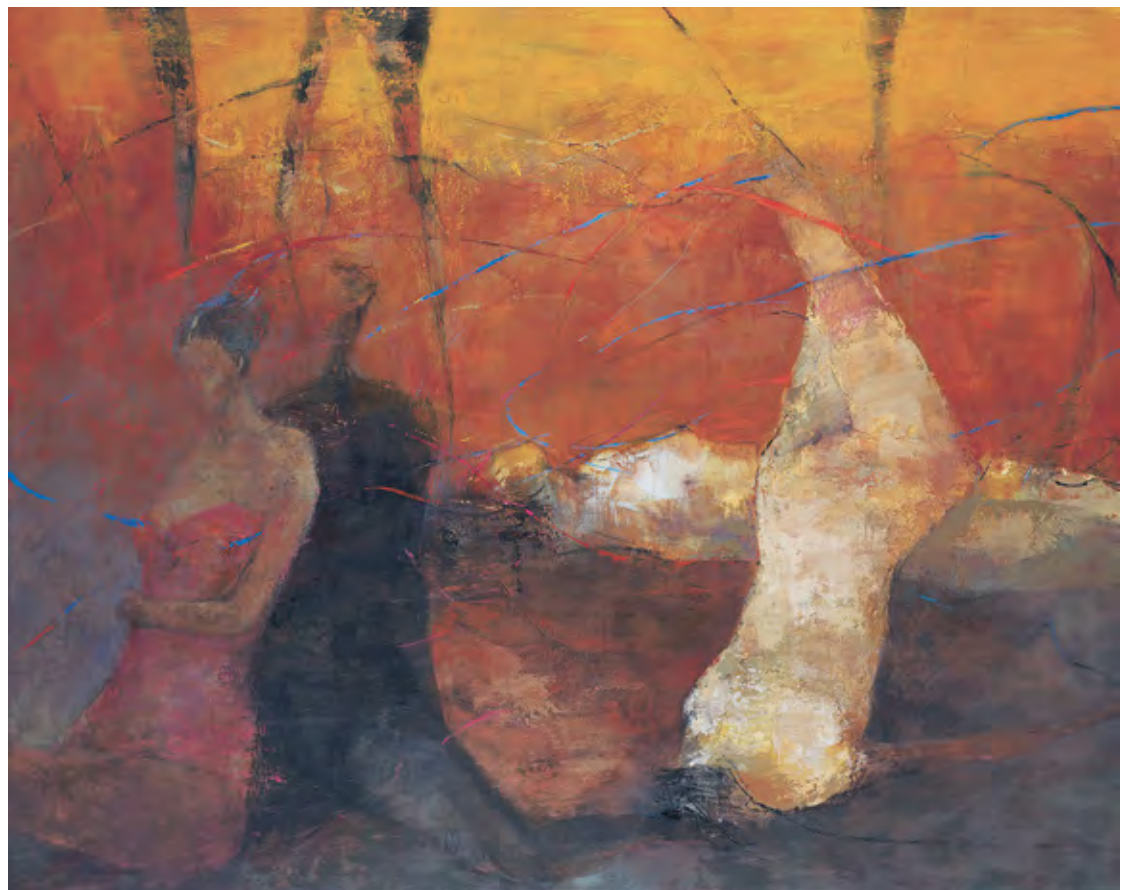
北緯44°01'東経144°28' 夜 184×182 吉田清光



もうひとつの風景 F120 加藤ひとみ



私の八十二花(二科)展 F130 上原さつき



音 F150 佐々木里華



—陽来復—2025 162×260 須田美紀子



白いテーブルクロス F130 高木和子



manière gravure／版画の手法 181×273 谷口貞久



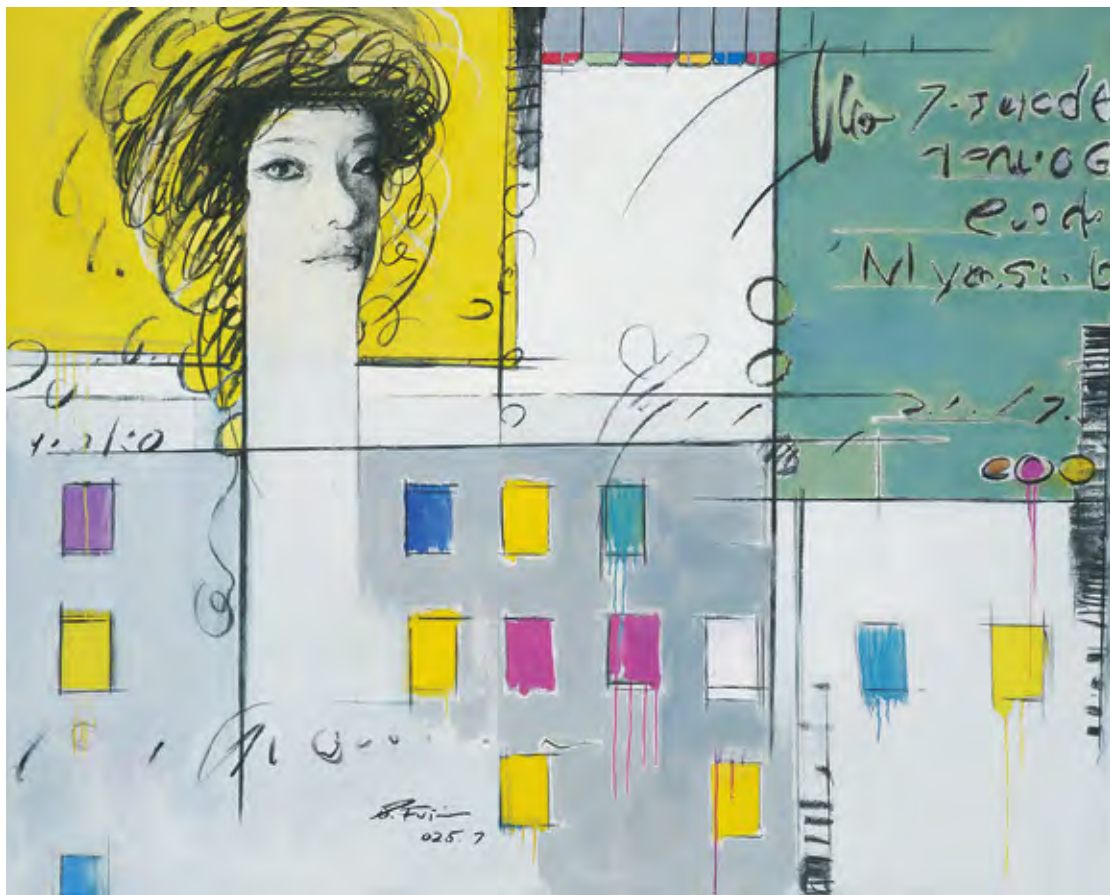
建造物群 F130 田村一男



春風 F200 茶谷弥宏



雲のまにまに 194×260 辻 富佐美



Letter F100 藤谷 進



朝焼の甲斐駒ヶ岳 F130 矢野兼三



Pierrot (道化) F130 有泉 學



めぐりあう刻に P200 石倉妙子



気配 194×293 石橋国夫



MEDITATION '25 194×324 及川英之



卓上のものたち 182×273 北村美佳



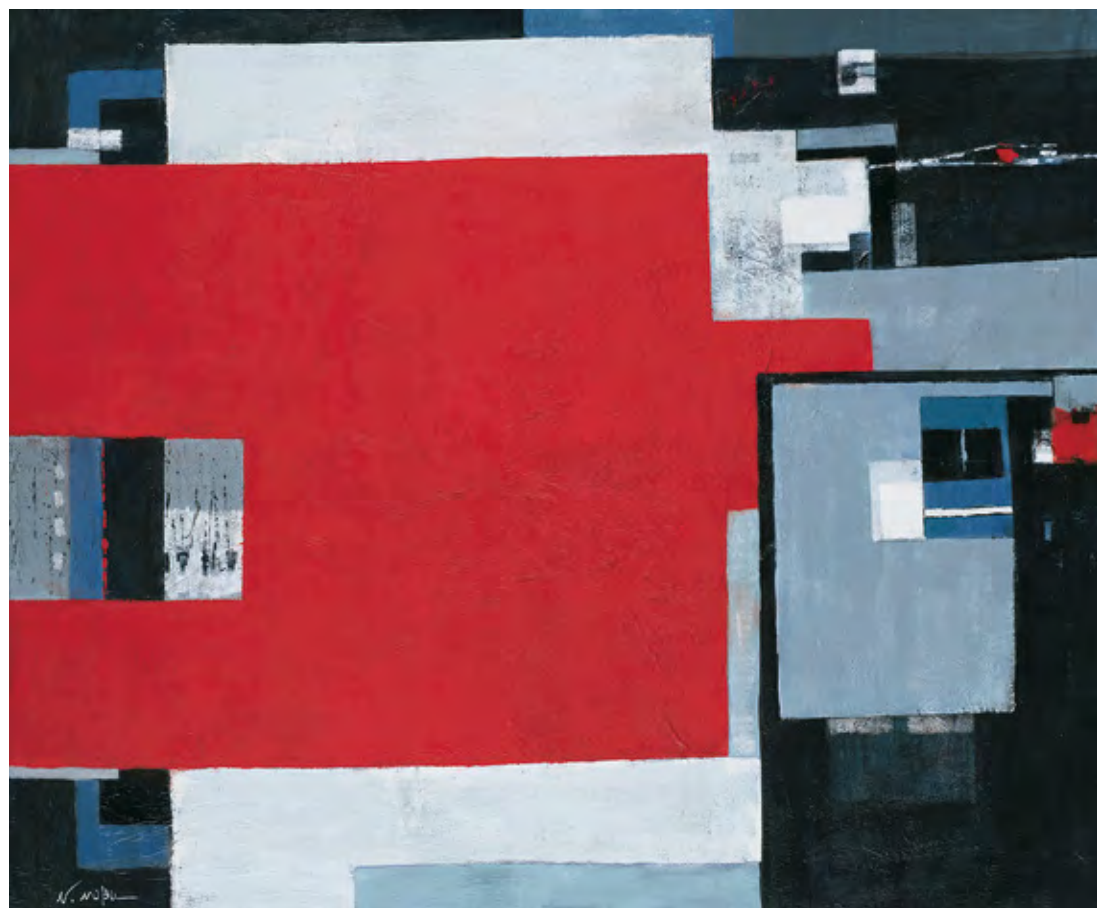
蜃気楼(人形達の休息) F130 鈴木章司



ORACLE P150 高畑 彰



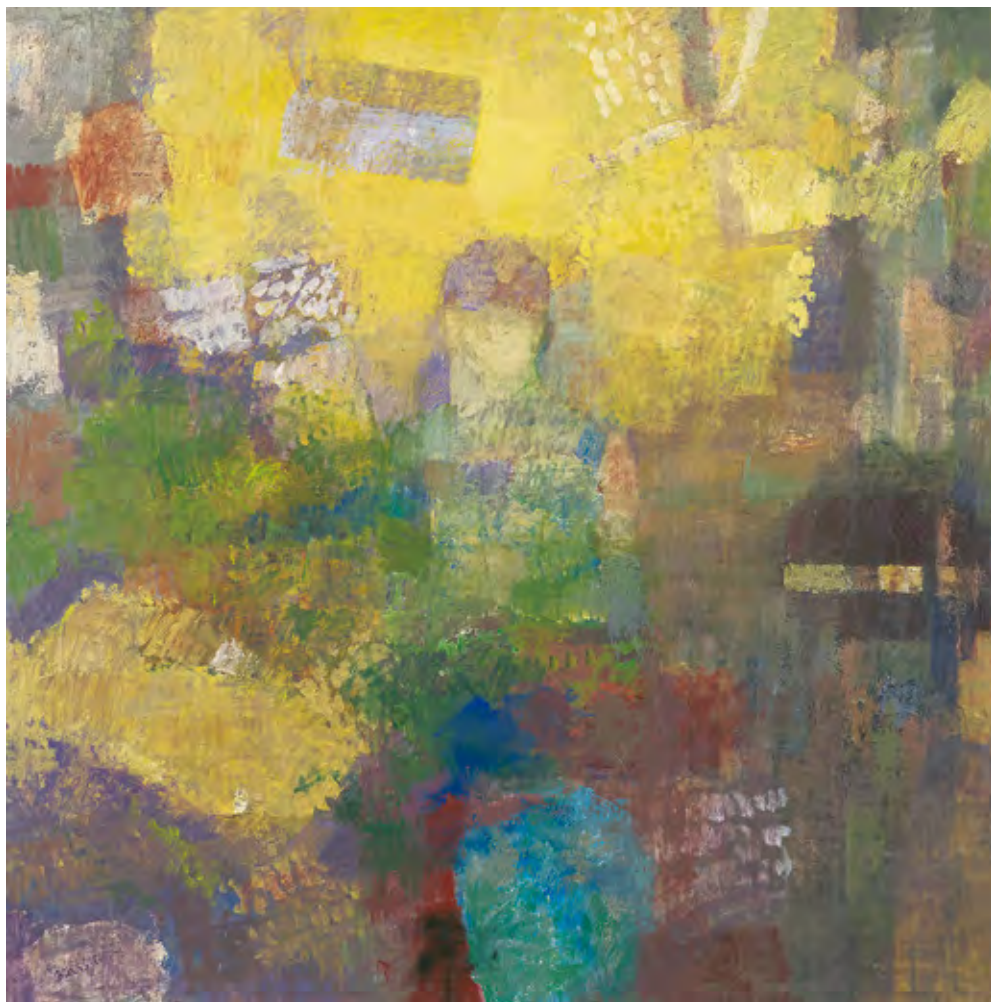
街の記憶2025 S50 高松良幸



序曲 Rouge F130 ナカムラ 延



身近な宇宙 194×324 明石里美



穂 S100 石田勝己



もう一つの世界へ—2025— F130 伊藤よし子



ジャズが聞こえる25 F130 小林豊弘



ジョカの森 S100 錦木真葉



街の情景 F130 野口睦幸



時感25-IV F130 餅原宣久



メロディーが聴こえてくる F130 山崎美恵子



黄の風景 F130 山中惇孝



夏をよぶ鳥 S100 飯田由美子



0 (戦争はイヤダ) 145.5×224 大久保リツ子



風の断片 162×260 木村利加子



ウィーンの冬 S100 瀬野道子



造船所の在る風景 F130 高山章亮



on the corner S100 根木 悟



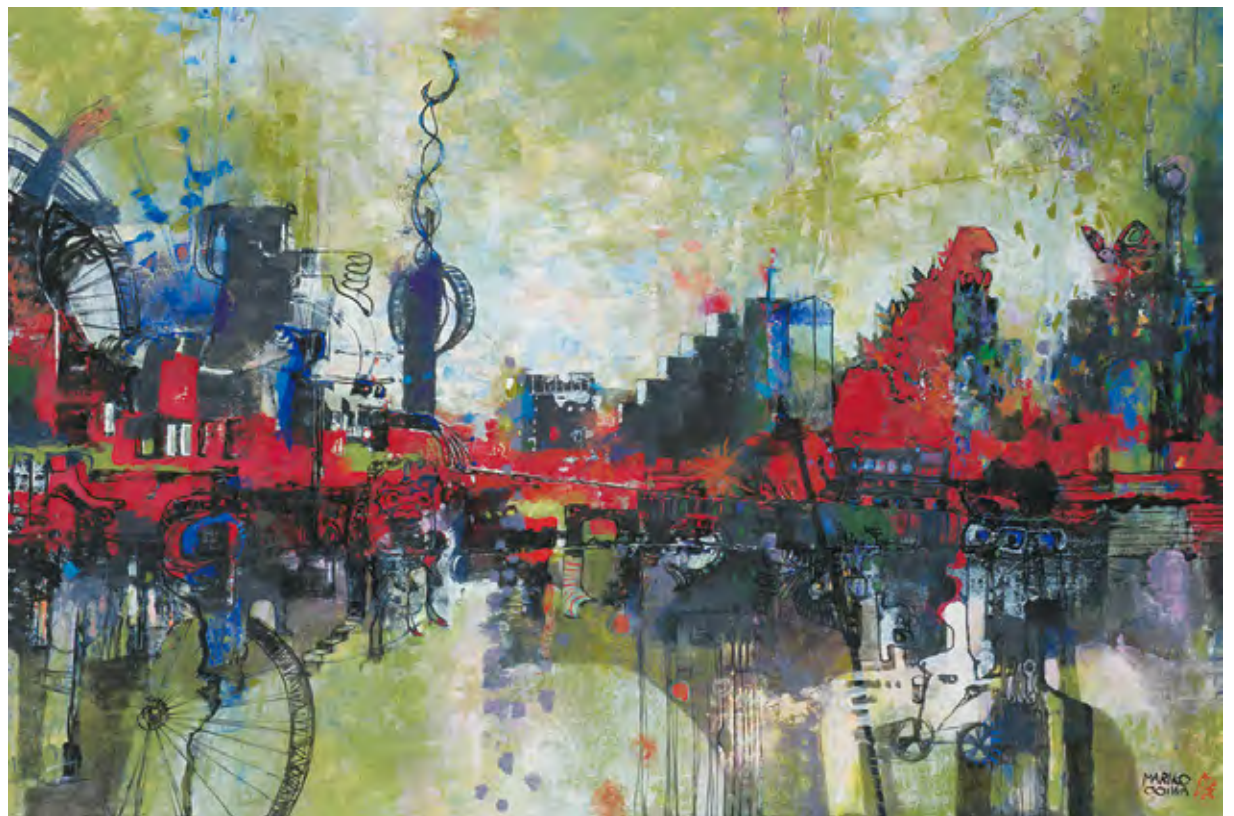
望郷 F200 長谷川昭三



遥かに祈る F130 村上雅洋



溪谷の賑わい F130 山下 宏



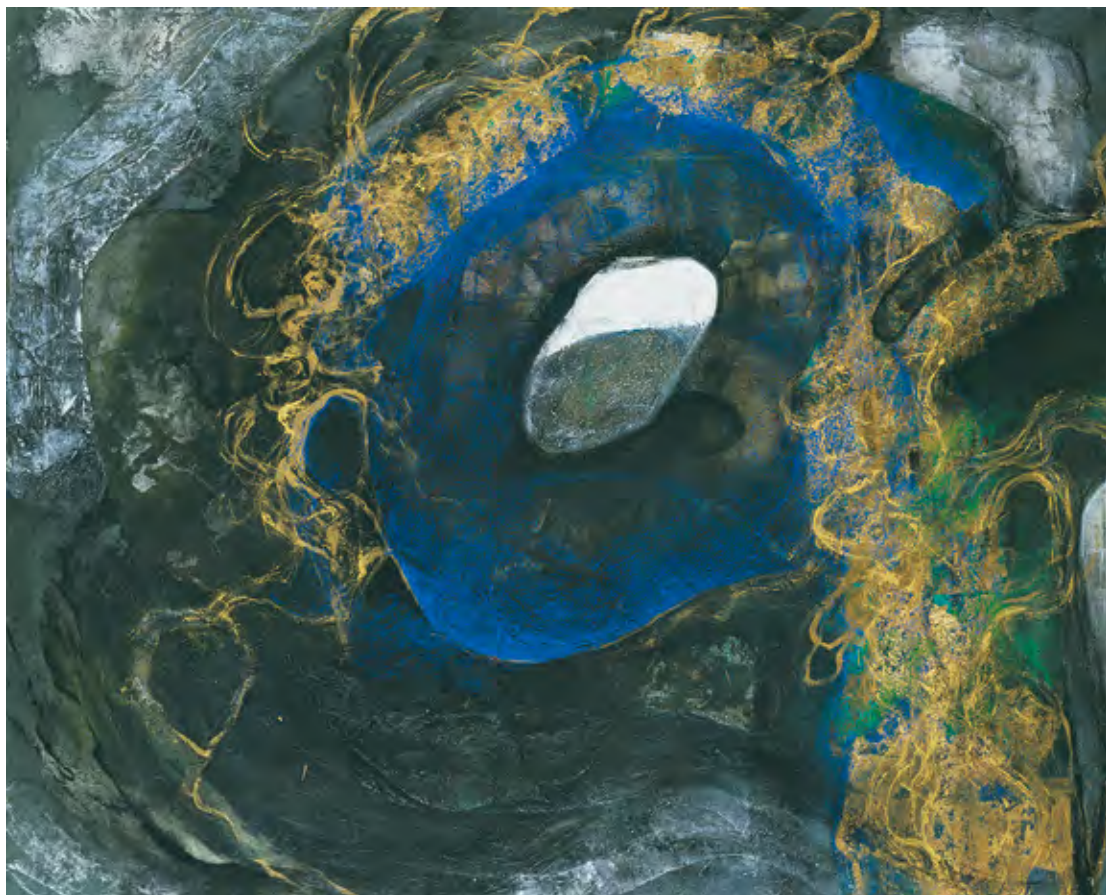
シティクライシス F120 大岩万里子



on the terrace 162×340 大島麻琴



刻 F130 小田島えい子



流動 F100 熊田奈穂子



人・かたち F130 酒井とし子



心の残響・鳥とチューリップ P150 嶋田みどり



藪の中 F120 徳永スエ子



月想 F130 中 静江



キミとだからボクは進める F150 野平智広



OTOWA POND F150 山岡明日香



LINES 293×162 山下かじん



La femme qui portait une ville F150 石本香織



月の循環バス F130 稲生由美子



紫陽花の庭 194×260 佐藤英行



色は匂へど(抗) 199×265 村山成夫



五穀豊穰 F80 高見 愛



パイ 194×292.3 山口博司



解放 162×261.4 吉金幸枝



理想郷への旅(立ちあがれ) M500 有馬広文



寂静の地 F130 上石直美



命のゆりかご F130 石川由巳子



うたた寝 F100 小野由紀子



ビリーブ 162×260 田中節子



遭遇 F130 渋谷良子



沈黙の風 F130 三宅敦子



色無き世界に F130
稲増克彦



人形 F130
片岡佐智子



～全ての人へ～そこにあると思うなら… F100 今村恵利子



繋ぎたい小さな港町 P120 金折文男



春水 F100 蒲田 宏



まぼろしの樹 162×340 合田 紘露胡



レジスタンス2025 185×260 津田佐千子



2025—夏 F130 縄井かつみ



時の港一在りて。此処に。 F130
平林直哉



Holiday F130
芝田満江



水源の秋 F100 後藤寿美子



海の夢 194×324 筒井通子



珊瑚の化身 390×194 鶴田英輝



Je suis japonais F130 富秋和子



風羅坊 P300 中野紀三朗



出逢った樹木 F130 宮本恵美子



IN THE BLUE M200 邑井吉治



Anello Rovente S120 柳澤綾子



清明こゝに！ F130 木村民治



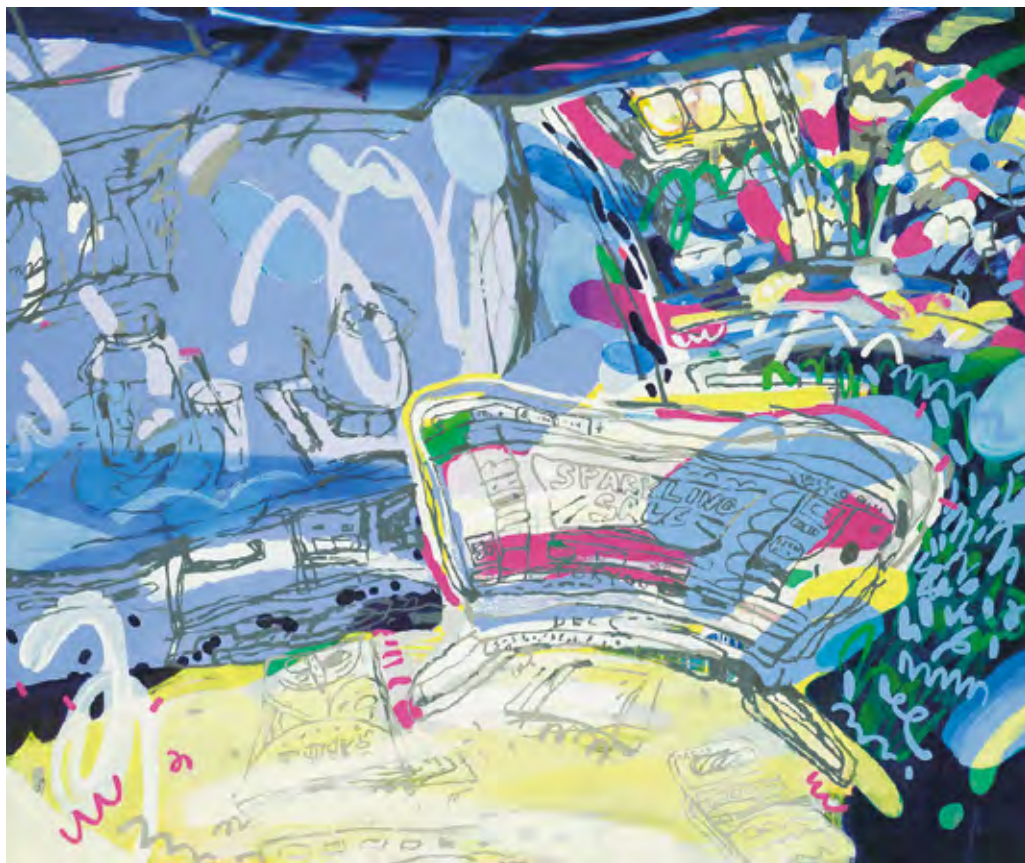
Reflectors F130 小原禎二



2025 · 画室 F130 高橋和平



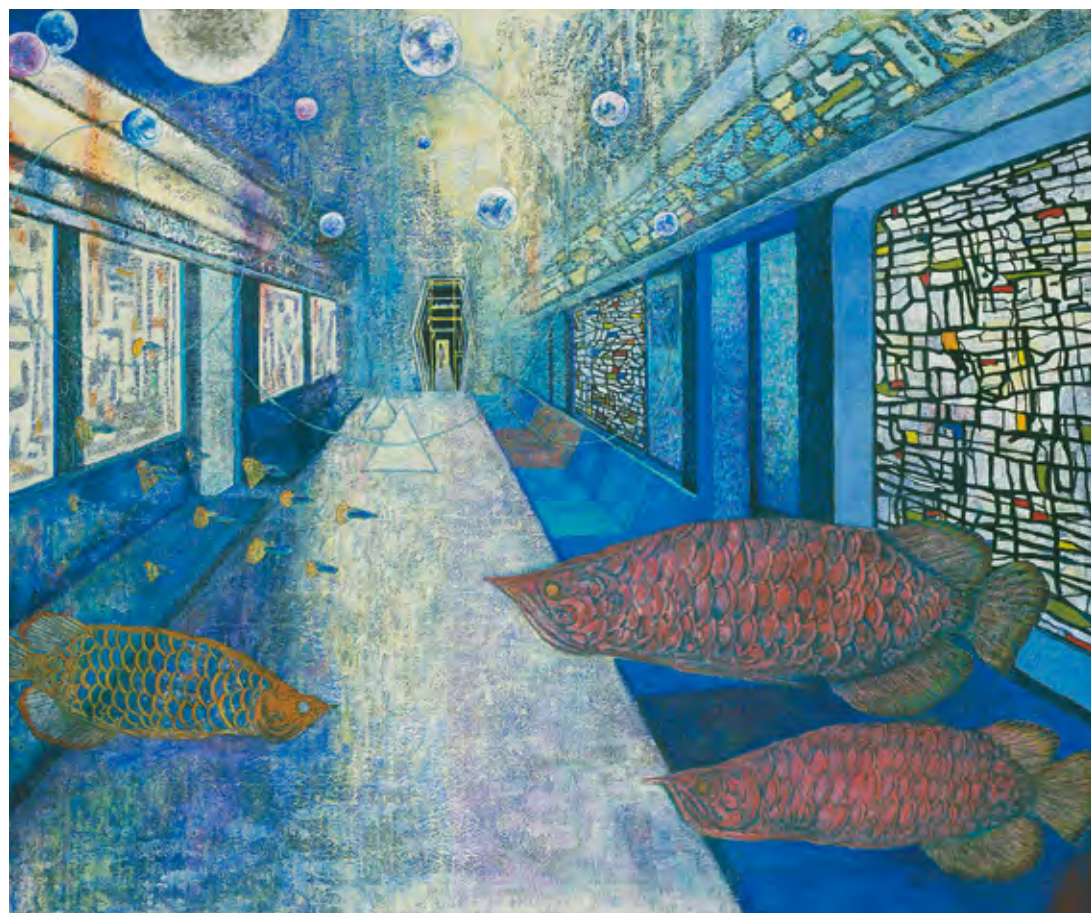
BABEL F130 坊中静六



テリトリー F130 水元美穂子



きんぼうげ F120 内木孝志



Metoro-25-MG F130 大槻 薫



忘れられた時'25 F130 加藤弘子



界 F130 鈴木真木子



ついの想景Ⅱ 一線 F120 武部美智子



26時の夢 S100 田中正子



Water in the bottle F130 坪田裕香



その空へ向かう F100 中澤純代



微光 162×264 中村ふく子



うつくしいもの F150 福島菜菜



I Love You 2025・F F130 渡邊仁美



遺作
北の海岸 F50
田中 良



遺作
Lumiere irise F100
相澤道子



遺作 鳥の歌 91×150 水谷征矢生

二科会趣旨

二科会は永い歴史が語るように、発足以来、各部門が一貫した伝統精神として、時代を認識する徹底性において、視野を一方向に限定せず、新しい表現価値の創造に向かって不断の追究を期することが信条である。よって全会員の制作上の自由を擁護し、個性を尊重する。流派の如何を問わず新しい価値の創造者は抜擢され待遇されるであろう。

かくて、二科会を美の温床としようとする努力は不変の鉄則であり、我々の理念である。

二科会について

1889年(明治22年)に日本最初の洋風美術団体「明治美術会」が創立され、7年後の1896年(明治29年)に東京美術学校に洋画科が設置されたのが、わが国洋画壇の黎明期であり、この頃フランスに留学していた新進の芸術家が帰朝するに従って、文部省展覧会の審査に新・旧の価値観の違いが目立ってきました。そこで、新・旧を一科と二科に分離するように政府に要求しましたが、時期尚早なりと却下されました。

そのため1914年(大正3年)文展(文部省美術展)の洋画部に対して新進作家たちが新しい美術の確立を標榜して、在野の美術団体「二科会」を結成し「流派の如何にかかわらず、新しい価値を尊重し、創造者の制作上の自由を擁護し、抜擢する」という趣旨のもとに1世紀におよぶ歩みを踏み出しました。この間、二科会は常に時代の新傾向を吸収し、黎明期から多くの著名な芸術家を輩出してきました。

現在、絵画・彫刻・デザイン・写真の4部で二科美術展覧会を開催しておりますが、絵画部、彫刻部は民主的運営を目指し1979年(昭和54年)に法人化し、社団法人二科会として発足、さらに2012年(平成24年)には絵画部・彫刻部は公益社団法人二科会としての認定を受け、デザイン部・写真部も法人化の道をたどりしました。

2007年(平成19年)からは本展会場を上野の東京都美術館から六本木の国立新美術館に移し、4部門での秋の二科展として親しまれる二科美術展覧会を開催し、会員の研鑽を重ねた熟成度の高い大作を発表する場としつつ、全国から広く作品を公募し会員の鑑審査により入選した力作を展示し芸術振興に努めています。また被災地への義援活動やウクライナの子供たちの作品を特別展示するなど、芸術を通して広く社会へ貢献すべく活動しています。

二科展は、東京展に続き、各主要都市での巡回展を実施しています。

さらに、春には、上野の東京都美術館において、会員の実験的作品の発表と新進作家の育成を目指した春季展を開催し、2024年(令和6年)より特別企画として会友・一般からも自由に応募出来る「NIKA+nika/S20号」コンクールも同時開催し、より広い表現の可能性を探っています。